

Dynamic Enterprise AI Solution

<AIRead White Paper>
AIRead Stand-alone
AIRead Standard、Trial、Light、Enterprise

バージョンアップ手順書 (v4以前→v5)

2024年6月
(AWP-004-10)



AIとローコード開発を活用し
世の中をより良い世界に

1. はじめに
2. 旧バージョンフォルダのリネーム
3. 新バージョンのインストール
4. ライセンスの適用
5. 旧バージョンのキャッシュの消去
6. 旧バージョンのデータ移行
7. フォーム定義の修正
8. RuleEditorのフォーム定義の変換
9. 動作の確認

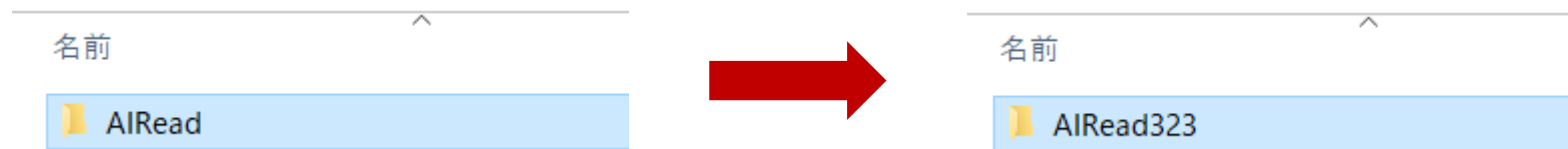
- 本書は「AIRead Ver.2.3.1～ver.4」から「AIRead Ver.5」へバージョンアップ手順書を記載した文書です。
- 対象のエディションは、以下の通りです。
「AIRead Stand-alone」、「AIRead Standard」、「AIRead Trial」、「AIRead Light」、「AIRead Enterprise」
- バージョンアップ前のAIReadは、Ver. 2.3.1～Ver.4からVer.5へのバージョンアップを前提としております。
- Ver. 2.3.0より以前のバージョンからのバージョンアップ手順は、別途お問い合わせください。

2. 旧バージョンフォルダのリネーム

- 旧バージョンのAIReadを退避させます。
- AIReadは、Windowsの環境変数 "AIREAD_HOME" で設定されたフォルダを参照し実行されます。
- この環境変数がバージョンごとに混在することを避けるよう、旧バージョンのAIReadフォルダをリネームし、新バージョンを旧バージョンと同一のフォルダ名でインストールすることで、バージョンアップによる環境変更の影響を最小限にすることができます。

- 手順：

- ① 旧バージョンの**AIReadインストールフォルダ**を**リネーム**（名前の変更）します。



例) バージョンアップ元が Ver. 3.2.3、インストール先は初期値のままの場合

“C:¥AIRead” を “C:¥AIRead**323**” に変更します

3. 新バージョンのインストール

Confidential

- AIRead 新バージョンのインストールを行います。
- 手順：
 - ① AIReadのインストールモジュールは、以下のサポートサイトよりダウンロードができます。
(事前登録が必要です)

AIRead Downloadサイト (ログイン画面)

URL <https://support.airead.ai/login>

- ② 最新バージョン (ver.5～) の「AIRead on Premise」をダウンロードします。



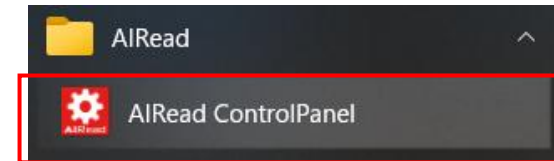
- ③ ダウンロードしたAIReadをインストールします。
※詳細は[AIReadマニュアルサイト](#)「[AIRead Install Manual](#)」を参照してください

4. ライセンスの適用 (1/3)

- AIReadライセンスの適用を行います。
- インストールするPCに変更が無い場合でも、新たにVer.5のライセンスファイルの取得をお願いします。（Ver.4とVer.5のライセンスファイルは互換性がないのでご注意ください。）
- ライセンスの再発行については、AIReadインストールマニュアルの「5.ライセンス申請」をご参照ください。（<https://manual.airead.ai/installmanual/>）

- 手順：

① Windowsの「スタート」から「AIRead ControlPanel」を起動します。

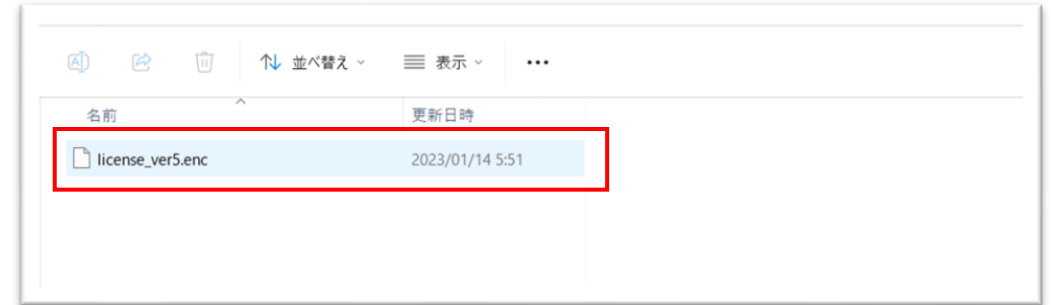


② ライセンス登録画面が起動するので、[選択]ボタンを押下します。



■ 手順（続き）：

③ 取得したver.5の”lic.enc” ファイルを指定します。

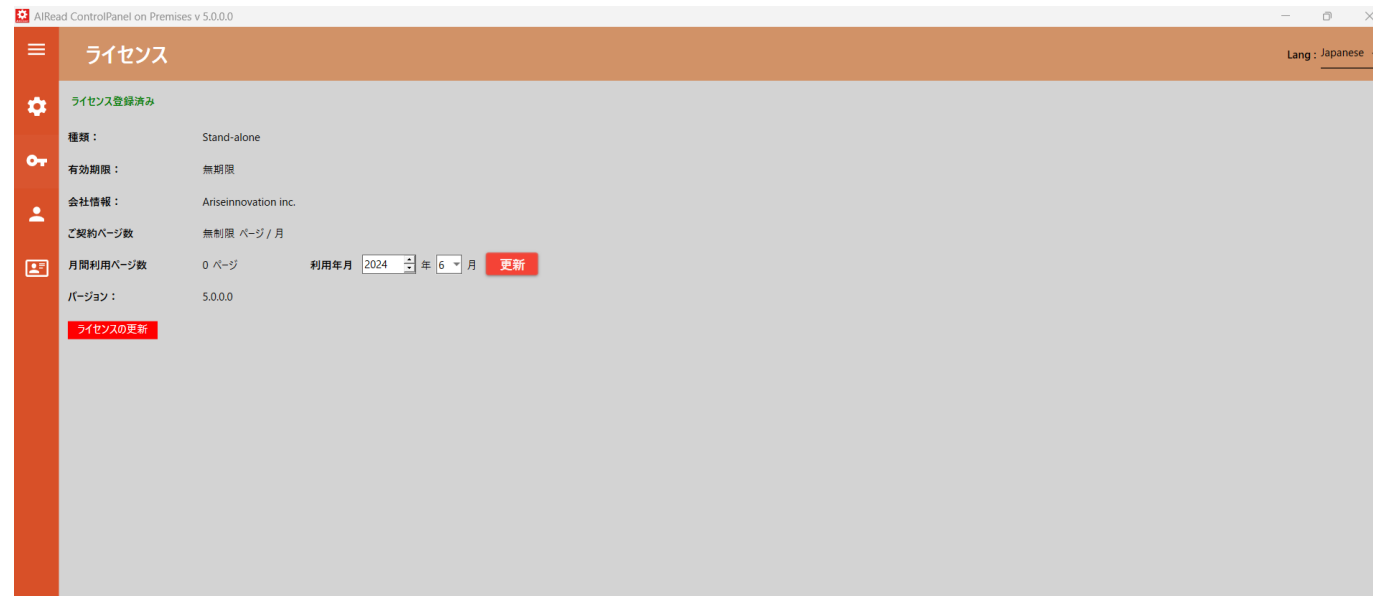


④ 「登録」 ボタンを押下します。



■ 手順（続き）：

⑤ ライセンス登録が完了します。



※ライセンス登録に失敗する場合、改めてライセンス申請を行ってください

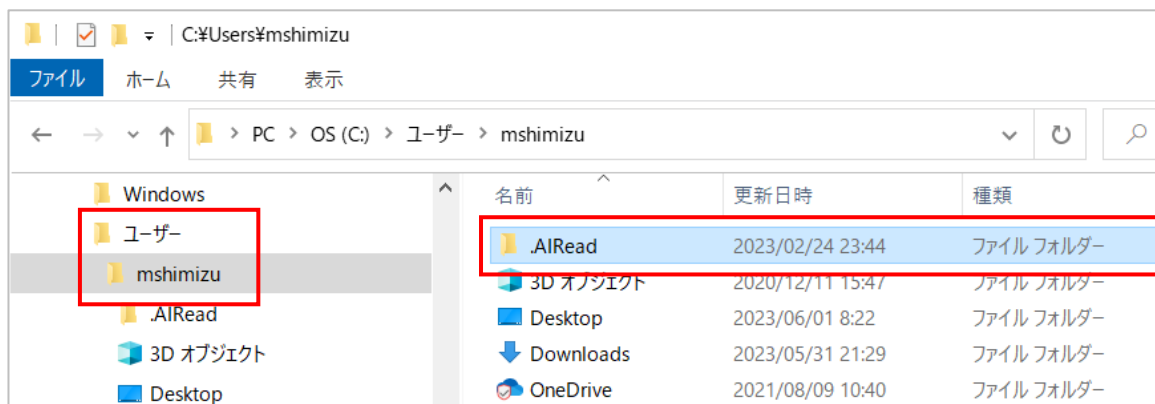
詳細は[AIReadマニュアルサイト](#)「[AIRead Install Manual](#)」 - 「5. ライセンス申請」を参照してください

5. 旧バージョンのキャッシュの消去

- AIReadは、実行時にキャッシュを作成しています。
- 新バージョン実行の前に、旧バージョンのキャッシュを消去します。

■ 手順：

① Windowsのエクスプローラーから“ユーザ” - “自アカウント名のフォルダ”を開きます。



② フォルダ内にある“.AIRead” フォルダを、**フォルダごと削除**します。

- 旧バージョンで作成した各設定情報を新バージョンの環境にコピーします。

■ 手順： ※以下に記述されたフォルダ、ファイルの場所は初期値です。追加・変更がある場合は読み替えてください。

① AIReadフォーム定義（AIRead FormEditor定義）を**フォルダ単位でコピー**します。

- AIRead FormEditor定義の保存フォルダ C:¥AIRead¥AIRead_conf
- AIRead FormEditor定義 上記フォルダに格納されたフォルダ

② AIRead共通設定ファイルを**ファイル単位でコピー**します。

- AIRead 座標指定実行時の共通設定ファイル C:¥AIRead¥AIRead_setting.ini
- AIRead 全文OCR実行時の共通設定ファイル C:¥AIRead¥AIRead_setting_whole.ini

③ 個別読取結果変換設定リスト（旧バージョン：後処理設定ファイル「<旧AIRead>¥IDELibrary¥OcrPostProcess」）を**ファイル単位でコピー**します。

- 個別読取結果変換設定リストの保存フォルダ C:¥AIRead¥OcrPostProcess
- 個別読取結果変換設定ファイル 上記フォルダに格納された拡張子".tsv"のファイル

④ 画像仕分け設定ファイルを**フォルダごとコピー**します。

- 画像仕分け設定ファイルの保存フォルダ C:¥AIRead¥ClassifyDir
- ※画像仕分け設定を行っていない場合、コピーは不要です

- 手順：（続き） ※以下に記述されたフォルダ、ファイルの場所は初期値です。追加・変更がある場合は読み替えてください。

⑤ これまでOCRで実行した結果（AIRead Viewer）の履歴を**フォルダごとコピー**します。

➤ AIRead Viewer履歴の保存フォルダ C:¥AIRead¥Viewer¥AIReadViewer¥Result

➤ AIRead Viewer履歴 上記フォルダに格納されたフォルダ

フォルダコピー後、C:¥AIRead¥scripts¥createDb4Viewer.bat を実行します。

createDb4Viewer.batを実行後、AIReadViewerを起動して実行結果が表示されることを確認してください。

⑥ ユーザ認証設定ファイルをコピーします。

➤ ユーザ認証設定ファイル C:¥AIRead¥aut¥airead.db

※ユーザ認証設定を行っていない場合、コピーは不要です

⑦ 個別学習を行ったモデルを**フォルダまたはファイル単位でコピー**します。

➤ AIReadモデルの保存フォルダ C:¥AIRead¥tessdata

➤ 手書きモデル 上記フォルダに格納されたモデル名のフォルダ

➤ 活字モデル 拡張子が".traineddata"のファイル

※個別学習を行ったモデルがない場合、コピーは不要です

⑧ その他、編集・作成したファイルをコピーします。

➤ AIRead実行 バッチファイル 拡張子が".bat"のファイル

➤ AIRead実行 ショートカットファイル 拡張子が".arex"のファイル

- 手書きモデルは、バージョンアップにより改善版がリリースされています。
- フォーム定義において、旧バージョンのモデルを指定している項目は、新モデルに修正することで読取精度の向上が期待できます。

■ 手順：

① AIRead FormEditorでフォーム定義を開きます。

手書きモデルの言語名に”(旧)”が付いている項目は新モデルが提供されています。

The screenshot shows the AIRead Form Editor v4.1.0.0 interface. The main window displays a form definition for a COVID-19 vaccination form. The right sidebar shows a list of items with their respective models. The detailed view on the far right shows the selected item's configuration.

項目名	モデル
体温1	手書き:数字(旧)
体温2	手書き:数字(旧)
体温3	手書き:数字(旧)
初めて-はい	チェックマーク
初めて-いいえ	チェックマーク
接種 1 回目	手書き:日本語(旧)
接種 2 回目	手書き:日本語(旧)
接種券番号	バーコード
ロットシール	画像抽出
接種量1	手書き:数字(旧)
接種量2	手書き:数字(旧)
実施場所	手書き:日本語(旧)
医師名	手書き:日本語(旧)
医療機関等コード	手書き:数値・電話
接種年月日-年	手書き:数字(旧)
接種年月日-月	手書き:数字(旧)
接種年月日-日	手書き:数字(旧)
接種年月日-日	手書き:数字(旧)
接種年月日-日	手書き:数字(旧)
接種年月日-日	手書き:数字(旧)

■ 手順：（続き）

② 項目の読取定義を開き、言語を新モデル名に修正します。

The image shows two states of the 'Read Definition' (読取定義) dialog box. In the left state, the 'Language' (言語) field is set to 'Japanese (Old)' (日本語(旧)). In the right state, it has been updated to 'Japanese' (日本語). A red arrow indicates the transition between the two states.

※手書きの新モデルが提供されたバージョンと対象のモデルは下表の通りです

言語	旧バージョンの表記	提供バージョン
数字	数字(旧)	3.2.1
カタカナ	カタカナ(旧)	3.2.1
日本語	日本語(旧)	4.0.0
名前	名前(旧)	4.1.0

8. RuleEditorのフォーム定義の変換

- 手順：Ver.4までのRuleEditorで作成された読取定義は、そのまま利用することができません。

以下の手順で、Ver.5の定義に変換する必要があります。

- ①Ver.5のインストール後、「scripts」フォルダ内に変換を行うバッチファイルがあります。

移行環境に合わせて、移行フォルダ名を変更して実行します。

※フォーム定義の変換を行った定義については、変換後読取を行い結果を確認してください。

チューニングが必要となる場合があります。

```
@echo off
rem RuleEditor定義をFormEditor定義へ変換するツール
rem -i 変換するRuleEditor定義のフォルダ (AIRead_conf_kw)
rem -o 変換後のFormEditor定義のフォルダ (AIRead_conf) と
rem 仕分け定義フォルダ (ClassifyDir) を作成するフォルダ

"%AIREAD_JAVA%/java" -jar MetadataSettingIni2FormatIni-1.0.jar -i "../AIRead_conf_kw" -o output
pause;
```

上記のバッチファイルを実行した場合、
C:¥AIRead¥AIRead_conf_kw¥ (変換前フォルダ)



C:¥AIRead¥scripts¥output¥AIRead_conf¥ (変換後の読取定義)
C:¥AIRead¥scripts¥output¥AIRead_conf¥classtify¥ (変換後の仕分定義)

- 以上でバージョンアップ作業は完了です。
- 下記の手順を参考に動作確認を実施してください。
- 手順：
 - ① AIRead FormEditor を起動し、任意のフォーム定義を指定することで該当のフォームが開くことを確認します。
 - ② AIRead FormEditor にて、①の状態から左下の[AIRead]ボタンを押下することで、OCRが実行され AIRead Viewer が起動されることを確認します。
 - ③ AIRead Viewer にて、過去の読取結果の履歴と②の結果が一覧に表示されることを確認します。
 - ④ バッチファイル、ショートカットからの起動で、AIReadが期待通り動作することを確認します。



アライズイノベーション株式会社

東京都中央区勝どき3-13-1

Mail : airead_support@ariseinnovation.co.jp

AIRead Official : <https://airead.ai/>

AIRead Support : <https://airead.tech/>

AIRead Manual : <https://manual.airead.ai/>